

LINN

English

Español
Nederlands
日本語



EXOTIK PRE-AMPLIFIER

オーナーズマニュアル

安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。
本機器はアースする必要があります。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。

プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。
導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤは Live ピンに接続します。
青いワイヤは Neutral ピンに接続します。
緑/黄色のワイヤは Earth ピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店が技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. **機器とカートの組合せ**については十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発生するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかたりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. 主電源を遮断するには電源プラグを主電源コンセントから引き抜いてください。機器は主電源コンセント近くに設置し、電源プラグにはいつでも手が届くようにして下さい。製品をご使用されないときは（主電源スイッチが装備されている機器であれば）スイッチをお切りください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
16. **屋外アンテナの接地**：チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70 の 810 項を参照してください。
17. **雷が鳴り出した場合**：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
18. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
19. **サービスが必要になる場合**：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨に濡れたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
 - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
20. **サービス**：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。

警告

本機器はアースする必要があります。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

| 規準番号 | 制定年 | 試験形式 |
|---------|------|---|
| EN60065 | 2002 | 一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の場合における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性 |

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

| 規準番号 | 制定年 | 試験形式 |
|---------|------|------|
| EN55013 | 2001 | 誘導排気 |
| EN55013 | 2001 | 吸収排気 |
| EN55020 | 2002 | 免責 |

FCC 通告**注記**

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2004 Linn Products Ltd. First edition April 2004.

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ,
Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) および Linn のロゴは、Linn Products Limited の登録商標です。
EXOTIK、UNIDISK、KLIMAX、LIMBIK、 および **KNEKT** は Linn Products Limited の商標です。

EXOTIK+DA について

「DTS」「DTS-ES」「DTS 96/24」は、Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。「Dolby」「Pro Logic」および「double-D」のマークは、いずれも Dolby Laboratories の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があつたとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

目次

| | | | |
|------------------------------|----------|---------------------------|-----------|
| はじめに | 1 | 操作 | 17 |
| 音声フォーマット (EXOTIK+DA) | 1 | スタンバイ キー | 17 |
| クリアリング | 1 | 入力機器の選択 | 17 |
| 接続 | 2 | サウンドの調節 | 17 |
| 開 梱 | 2 | 音量 | 17 |
| 電源の接続 | 2 | バランス | 17 |
| 設置場所 | 2 | 音量微調整 | 17 |
| 背面パネル | 3 | Lip Sync デイレイ (EXOTIK+DA) | 18 |
| 前面パネルとリモコン | 4 | サラウンドサウンドのフォーマット | 18 |
| 前面パネルのディスプレイ | 4 | 深夜映画モード (EXOTIK+DA) | 20 |
| 前面パネルのレイアウト | 4 | もとの音声設定に戻す | 20 |
| リモコン | 5 | 録音機能 | 21 |
| 設定 | 6 | 仕様 | 22 |
| 接 続 | 6 | 保証とサービス | 23 |
| 設定メニュー | 6 | | |
| 設定メニューの使用 | 7 | | |
| Speaker setup (スピーカー設定) | 7 | | |
| Source setup (ソース設定) | 9 | | |
| Audio setup (音声設定) | 11 | | |
| General setup (一般設定) | 12 | | |
| Installer Menu (インストーラーメニュー) | 15 | | |
| リンUNIDISKとEXOTIKを接続して使用する | 16 | | |

はじめに

EXOTIK プリアンプは、2チャンネル、マルチチャンネルを問わず、素晴らしいパフォーマンスを生み出すよう設計されています。本製品は、賞賛を得たリンの最高級プリアンプ KLIMAX Kontrol 用に開発された技術を利用し、純粋な音響パフォーマンスを実現すると共に、新世代のマルチチャンネルサウンドフォーマットへのアクセスとコントロールを実現しました。

2種類の異なるタイプをラインナップし、お客様のお好みに合わせたシステムプランに対応できます。

EXOTIK は、バスリダイレクト、ステレオサブアルゴリズム、および 5.1 チャンネルから 2 チャンネルへのミックスダウンをサポートするマルチチャンネルのアナログ機器です。

EXOTIK+DA は、EXOTIK の機能に加え、Dolby Digital 5.1 (ドルビーデジタル 5.1)、Pro Logic II (プロロジック II)、DTS サラウンド、および DTS 96/24 を含む主要な音声フォーマットをすべて処理するデジタルオーディオモジュールを追加した機能拡張タイプの製品です。*

EXOTIK プリアンプは、更に進化したパフォーマンスと素晴らしい品質で、お客様をこれまでと同様にサポートし続けると共に、最新のテクノロジーや音声フォーマットを利用した新製品開発へもいち早く取り組んでいるリンの姿勢を具現化したものです。

重要事項：

機器がスタンバイ状態のときは、EXOTIK か EXOTIK+DA のどちらかが前面パネルに表示され、製品のタイプを示します。

本マニュアル上の EXOTIK とは、製品の標準バージョンおよび EXOTIK+DA バージョンを意味します。EXOTIK+DA とは、機能を拡張したモデルを意味します。

* デジタルオーディオモジュールは、標準 EXOTIK のアップグレードとしても利用できます。

音声フォーマット (EXOTIK+DA)

EXOTIK+DA が対応しているサラウンドサウンドのフォーマットには、以下のものが含まれます。



Dolby Pro Logic II, Dolby Digital EX



DTS 96/24, DTS-ES

これらにリン独自の LIMBIK アルゴリズムが追加されています。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

接続

ここでは、お使いのハイファイシステムにEXOTIKをインストールする方法について解説します。

梱包

製品には、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコンとブックレット
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 接続ケーブル (黒) 1組
- RS232コード (EXOTIKをリンUNIDISKと接続し、2つの機器の間で通信できるようにする)
- 電源コード
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電源の接続

EXOTIKは一般家庭のAC電源で作動しますから、電圧を手動で選択する必要はありません。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。各国の規則にしたがって、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合もあります。その場合は、ヒューズ交換の際に必ず同タイプ同定格のものを使用してください。



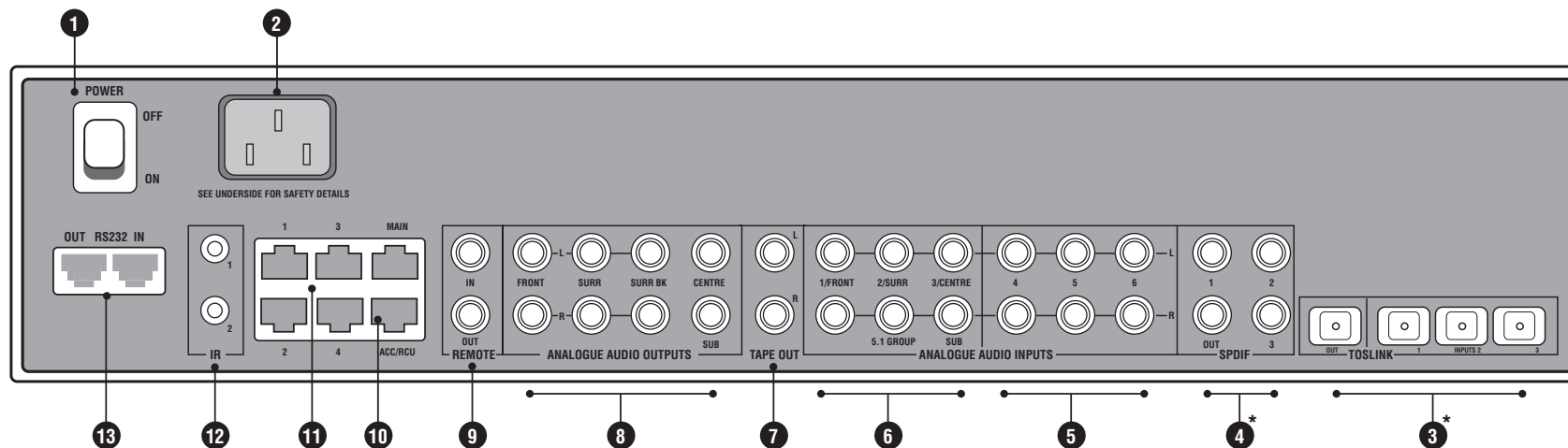
EXOTIKを電源につなぐときは必ずアースをしてください。付属のアース付き電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置場所

EXOTIKはどんな場所 (19インチラックを含む) にも手軽に置いていただけますが、以下の点にご注意ください。

- リモコンからの信号を受ける赤外線センサーは高感度です。誤作動を避けるために、本機は直射日光の当たらないところに置いてください。リモコンの赤外線ビームは磨りガラスも通りま
すから、たとえばキャビネットの曇りガラス越しの操作も可能です。
- 本機の上部と側面の換気孔を塞がないでください。
- ラジエーターやパワーアンプなど、熱を発するものから離して設置してください。

背面パネル



| 端子グループ名： 端子表示 | 接続/機能 | 端子 |
|---|--|-------------|
| 1 OFF, ON | 電源スイッチ | - |
| 2 名称・表示なし | 電源 | IEC |
| 3 * TOSLINK:OUT, INPUTS 1-3 | 光デジタル音声出力1個、 光デジタル音声入力3個 | TOSLINK x 4 |
| 4 * SPDIF:OUT, INPUTS 1-3 | 同軸デジタル音声出力1個、 同軸デジタル音声入力3個 | RCA x 4 |
| 5 ANALOGUE AUDIO INPUTS:4 L-R, 5 L-R, 6 L-R | ステレオアナログL-R音声入力3系統 | RCA x 6 |
| 6 ANALOGUE AUDIO INPUTS:5.1 GROUP - 1/FRONT L-R, 2/SURR L-R, 3/CENTRE L, SUB R | 5.1 アナログ音声入力1組またはステレオアナログ L-R 音声入力3系統 | RCA x 6 |
| 7 TAPE OUT:L-R | DAT プレイヤーなどのレコーディング装置への接続 用アナログL-R出力1系統 | RCA x 2 |

* EXOTIK+DA



背面パネル端子プラグの取り付けや取り外しは、EXOTIKのスイッチを切ってから行ってください。これは電圧サージが発生して本機や他のAV装置に損傷を与えるのを防止するためです。

| 端子グループ名： 端子表示 | 接続/機能 | 端子 |
|---|--|--------------------|
| 8 ANALOGUE AUDIO OUTPUTS:FRONT L-R, SURR L-R, SURR BK L-R, CENTRE, SUB | 7.1 アナログ音声出力1組。SURR (サラウンド) 出力は、5.1 システム内の2個のサラウンドラウドスピーカーへの接続用。SURR BK (サラウンドバック) 出力は、7.1 システム内の部屋の後方に置く2個の追加スピーカーへの接続用。 2チャンネルシステムの場合は、フロント表示の端子のみを使用して下さい (必要があればSUB端子も併用できます) | RCA x 8 |
| 9 REMOTE:IN, OUT | KNEKT システム内における RC5 in/out ローカルループ | RCA x 2 |
| 10 ACC/RCU | 本機を KNEKT システムまたは赤外線リピーターに接続。 | RJ45 x 1 |
| 11 1-4, MAIN | EXOTIK が KNEKT システムの一部となる場合に使用 | RJ45 x 5 |
| 12 IR: 1, 2 | 赤外線コマンドを補助装置に出力 | 2 x 3.5 mm ジャック |
| 13 RS232:IN, OUT | 操作コマンドを EXOTIK へ入力または EXOTIK から出力。リン UNIDISK などの他の装置を EXOTIK で操作する場合、OUT 接続を使用。別のホームシアターコントローラーから EXOTIK を操作する場合、IN 接続を使用。 | RJ12 x 2 |

リン UNIDISK と EXOTIK を接続して使用する

リン UNIDISK との接続および設定方法に関しては、「設定」の項の最後の部分を参照してください。

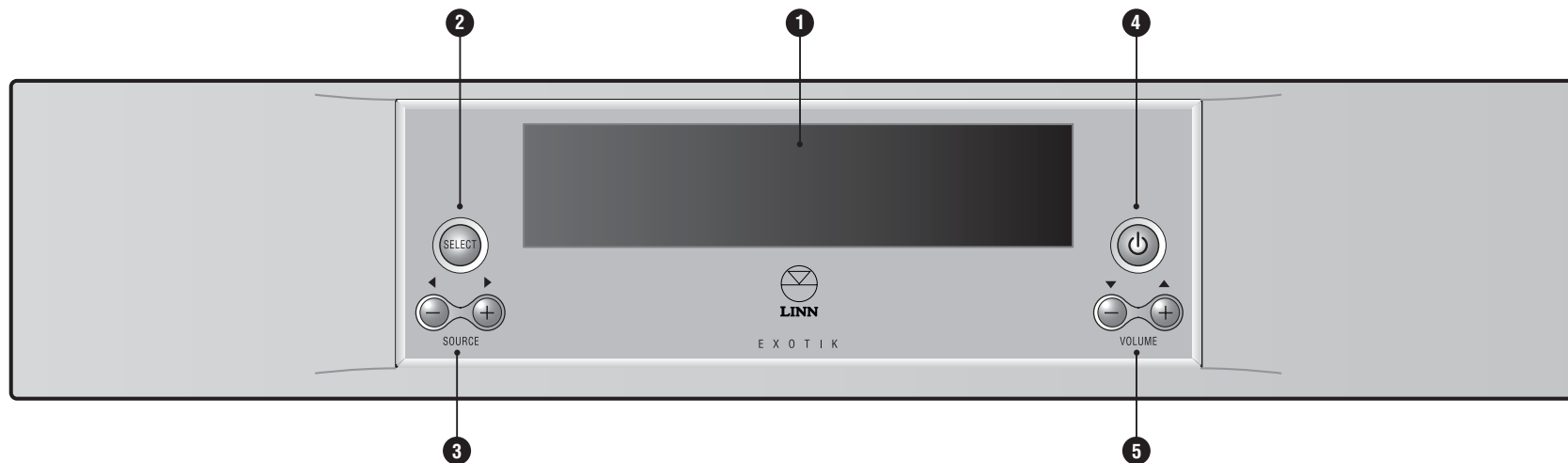
前面パネルとリモコン

前面パネルのディスプレイ

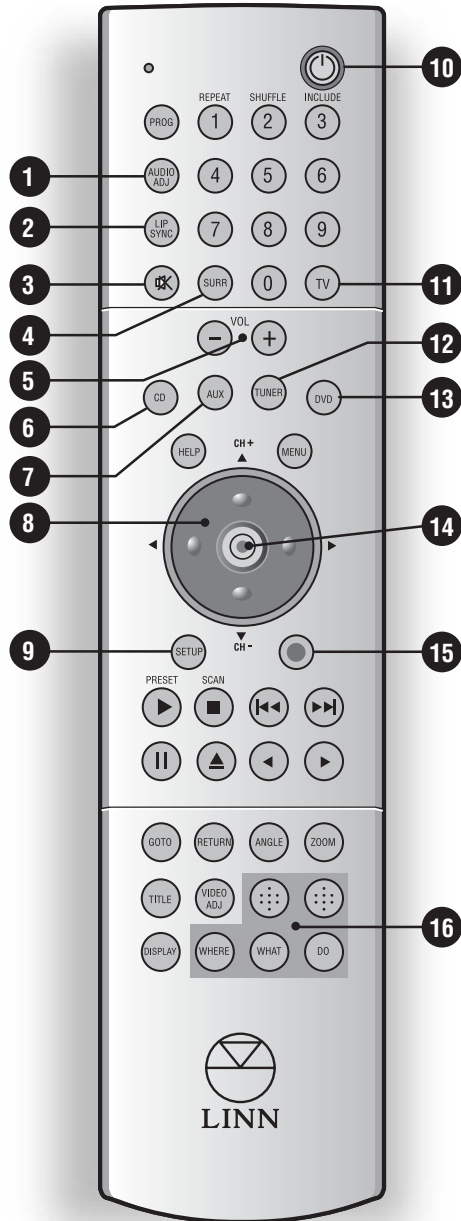
前面パネルのディスプレイには、再生中の音声に関する情報が表示されます。音量が左に、その右に選択された入力、下部には入力音声信号と処理モードが出ます。

またセットアップメニューや、その時点の動作内容により他の情報も表示することができます。

前面パネルのレイアウト



- 1 前面パネルのディスプレイ
- 2 **SELECT** オプションとコマンドを選択/実行します。「Setup Menu」(セットアップメニュー)を呼び出します。
- 3 **SOURCE** $-/+$, $\triangleleft/\triangleright$ ソースを変更し、設定を調整します。
- 4 **⏻ <standby>** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます。
- 5 **VOLUME** $-/+$, ∇/\triangle 音量を調整したり、セットアップメニューで設定を調整します。



リモコン

- 1 **AUDIO ADJ** スピーカーのバランスと音量を調整します。
- 2 **LIP SYNC** 音声信号に対して遅延を与えます*。
- 3 **mute** 音声をミュート (消音)/ミュート解除します。
- 4 **SURRE** サラウンドサウンドのフォーマットを選択します。
- 5 **VOL -/+** 音量を調節します
- 6 **CD** CD入力を選択します。
- 7 **AUX** 他機器からの入力を選択します。
- 8 **△ ▽ ◀ ▶** セットアップメニューの項目を選び、設定を調整します。
- 9 **SETUP** セットアップメニューを表示/非表示します。
- 10 **standby** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます。
- 11 **TV** リモコンをTVモードにします。
- 12 **TUNER** チューナーを入力として選択します。
- 13 **DVD** DVD入力を選択します。
- 14 **[enter]** オプションとコマンドを選択/実行します。
「Setup Menu」 (セットアップメニュー) を呼び出すために使用されます。
- 15 **record** 録音経路を設定します。
- 16 **KNEKT keys** 本機をKNEKTシステム内で使用するときに使います。

灰色で記載しているキー、および上記の説明に含まれていないキー操作は本機では使用しませんが、他のリン製品で使用することがあります。

注記:


EXOTIKがリモコンキーで操作できない場合、リモコンがTVモードになっている可能性があります。リモコンのソースキーのいずれか (DVD/CD/TUNER/AUX) を押してください。

* EXOTIK+DA

設定

接続

EXOTIKのセットアップでは、まず始めに入力機器、パワーアンプ、およびその他の周辺機器をEXOTIKに接続します。

1. EXOTIKとEXOTIKに接続するすべてのコンポーネントの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. マニュアルの接続の項目にある背面パネル図を参照しながら、入力機器、パワーアンプ、および使用するすべての通信/操作機器を接続します。
3. EXOTIKを電源に接続し、背面パネルのスイッチを使って本機に電源を入れます。画面にEXOTIKまたはEXOTIK+DAが表示されます。
4. 前面パネルあるいはリモコンの  キーを押します。

お使いいただく環境に応じてEXOTIKを設定するには、セットアップの操作で行います。設定メニュー及び方法については以下の章で説明しています。

設定メニュー

設定メニューにより、EXOTIKに接続するすべての入力機器、一カー、およびその他の機器に合わせてEXOTIKを設定できます。ぜひ時間をかけて正しい設定を行ってください。

設定メニューは4項目あり、以下のMAIN MENU (メインメニュー) から呼び出します。

SPEAKER SETUP (スピーカー設定)

接続するスピーカーの個数と大きさ、及びキャリブレーションによる音量の設定。(EXOTIK+DA: スピーカーの距離の設定も行います。)

SOURCE SETUP (ソース設定)

本器機の入力機器を設定。

AUDIO SETUP (音声設定)

本機器の音声出力を設定。

GENERAL SETUP (一般設定)

本機器の一般設定を調整。

リンUNIDISKが接続される場合、UNIDISKの設定メニューへアクセスするためのUNIDISK SETUP項目もあります(この章の終わりの「リンUNIDISKをEXOTIKに接続して使用する」を参照してください)。

さらに、EXOTIKには、上記のメニューで設定された本機器の設定内容を保存したり、工場出荷時の状態に戻したりするためのINSTALLER MENU (インストーラーメニュー) があります詳しい情報は、この項の「Installer Menu (インストーラーメニュー)」をご覧ください。

設定メニューの使用

設定メニューを呼び出す：

- リモコンの「SETUP」を押します。

または

- 前面パネルの「SELECT」を押し続け、ディスプレイに「MAIN MENU /SPEAKER SETUP」を表示します。



MAIN MENU
⇨SPEAKER SETUP

インストーラーメニューを呼び出す：

- リモコンの「SETUP」が前面パネルの「SELECT」を押し続け (約5秒間)、ディスプレイに「INSTALLER MENU」を表示させます。

メニューとオプション間を選択する：

- 前面パネルかリモコンの ▲ / ▼ キーを使います。画面の矢印は、どのキーが使用できるのかを示しています。

選択決定する：

- リモコンの「enter」キーが前面パネルの「SELECT」キーを押します。

Speaker setup (スピーカー設定)



SPEAKER SETUP
⇨SIZE

SIZE (サイズ)

SPEAKER SIZE (スピーカーサイズ) サブメニューを呼び出します。

接続されたシステム中のスピーカー (サブウーファーを除く) が LARGE あるいは SMALL のどちらにあたるのかを設定する必要があります。スピーカーの物理的サイズではなく、再生周波数特性による分類です。

EXOTIKの場合

100Hz以下の周波数レスポンスが充分な場合、**LARGE**を選択してください。
100Hz以下の周波数レスポンスが充分でない場合、**SMALL**を選択してください。その場合、100Hz以下の信号成分はサブウーファー出力に振り分けられます。LARGE 設定の場合はフルバンドで出力されます。

EXOTIK+DAの場合

SMALL 設定時、サブウーファーに振り分けられる周波数を選択設定することができます。設定できる周波数は以下の通り。

オプション：40Hz、60Hz、80Hz、60Hz、100Hz、120Hz

デフォルト設定：80Hz

FRONT (フロント)*

大型のフロントスピーカー (フルレンジの周波数特性を有する) を使用している場合、「**LARGE**」に設定します。

小型のフロントスピーカー (充分な低音再生が困難) を使用している場合、「**SMALL**」に設定します。

デフォルト設定：**LARGE**

*2チャンネルシステムには FRONT を使用し CENTRE、SURROUND、SURROUND BACK、を **NONE** に設定して下さい。

CENTRE (センター)

大型のセンタースピーカー (フルレンジの周波数特性を有する) を使用している場合、「**LARGE**」に設定します。

小型のセンタースピーカー (十分な低音再生が困難) を使用している場合、「**SMALL**」に設定します。

センタースピーカーを使用していない場合、「**NONE**」に設定します。

デフォルト設定 : **LARGE**

SURROUND (サラウンド)

大型のサラウンドスピーカー (フルレンジの周波数特性を有する) を使用している場合 - 「**LARGE**」に設定します。

小型のサラウンドスピーカー (十分な低音再生が困難) を使用している場合 - 「**SMALL**」に設定します。

サラウンドスピーカーを使用していない場合、「**NONE**」に設定します。

デフォルト設定 : **LARGE**

SURROUND BACK (サラウンドバック)

大型のサラウンドバックスピーカー (フルレンジの周波数特性を有する) を使用している場合 - 「**LARGE**」に設定します。

小型のサラウンドバックスピーカー (十分な低音再生が困難) を使用している場合 - 「**SMALL**」に設定します。

サラウンドバックスピーカーを使用していない場合、「**NONE**」に設定します。

デフォルト設定 : **LARGE**

SUBWOOFER (サブウーファー)

サブウーファーを接続している場合、「**YES**」に設定します。

サブウーファーを接続していない場合、「**NO**」に設定します。

デフォルト設定 : **YES**

「**SAVE**」を選択して変更を保存し、**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「**BACK**」を選択し、変更を保存せずに **SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「**EXIT**」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「**SAVE**」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

DISTANCE (距離設定 : EXOTIK+DA)

SPEAKER DISTANCE (スピーカー距離) サブメニューを呼び出します。

DISTANCE UNITS (距離表示の単位)

スピーカーまでの距離を表示する際の単位を選択します。

オプション : **FEET** (フィート)、**METRES** (メートル)

デフォルト設定 : **FEET**

SPEAKER DISTANCE (スピーカー距離)

システム内に設置されたすべてのスピーカーからのサウンドが確実に同時に届くようにするために、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を **EXOTIK+DA** に入力します。 **EXOTIK+DA** は各スピーカーに、適切な遅延を与えます。

お使いのシステムのすべてのスピーカーに対して、リスニングポジションからの距離を設定します。

範囲 : **1 フィート (0.3m) ~ 27 フィート (8.2m)**

デフォルト設定 : **6 フィート (1.8m)**

「**SAVE**」を選択して変更を保存し、**SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「**BACK**」を選択し、変更を保存せずに **SPEAKER SETUP** (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「**EXIT**」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「**SAVE**」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

CALIBRATION (音量補正)

SPEAKER CALIBRATION (スピーカー音量補正) サブメニューを呼び出します。

SPEAKER CALIBRATION (スピーカー音量補正)

スピーカー音量補正で、各スピーカーからの音量が、リスニングポジションで同一レベルになるようにします。(この機能は2CHの場合は有効にはなりません) 耳に頼るか **SPL** (音圧レベル) メーターを使用して補正することができます。

EXOTIKとEXOTIK+DAではキャリブレーションの方法に違いがあります。

EXOTIKの場合

接続されたスピーカーシステムに音声信号をおくるためのテストディスクが必要となります。
LINN製品販売店にお問合せ下さい。

スピーカー音量補正手順：

- LINN UNIDISK (あるいはマルチチャンネル再生コンポーネント) を接続します。
- セットアップモードから出て、マルチチャンネル再生入力を選択します。
- 再度セットアップモードに入り、サブメニューのSPEAKER CALIBRATIONに戻ります。
- テストディスクのスピーカーキャリブレーション部分を再生し、EXOTIKメニューから補正するスピーカーを選択します。
- 補正しようとするスピーカーからの再生音量を他のチャンネルの音量と比較し、リモコンの ▲ / ▼ キーを用いて調整します。

EXOTIK+DAの場合

スピーカー音量補正手順：

- 「REF. CALIBRATION LEVEL」を選択します。聞こえる信号がちょうどよい音量になる(または、SPLメータであらかじめ設定したレベルに達する)ように基準レベルを調整します。
- 「NOISE」を選択します。「WHITE」(周波数あたりのエネルギーが均一、明るい響き)か「PINK」(オクターブあたりのエネルギーが均一、低周波数での響きがWhiteより重厚)を選択します。
- 「START」を選択します。信号はシステム内に設置されたスピーカー間を時計回りに移動して、ディスプレイに表示されます。
- 信号が他のスピーカーより大きい音または小さい音のスピーカーに到達したら、リモコンの ▲ / ▼ キーを使って、必要に応じて音量を調整します。▲ / ▼ キーを離して数秒すると、信号は時計方向で次のスピーカーに移動します。

- リモコンの「SETUP」か前面パネルの「SELECT」を押して、スピーカー補正を停止します。

範囲：-15dB ~ 15dB (0.5 dB ステップ)

デフォルト設定：0dB

「SAVE」を選択して変更を保存し、SPEAKER SETUP (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずにSPEAKER SETUP (スピーカー設定) メニューに戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

「BACK」を選択し、MAIN MENU (メインメニュー)に戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。

Source setup (ソース設定)



設定するリアパネル入力端子を選択します。Linn UNIDISKを接続する場合はADD UNIDISK*を選択します。** 接続するすべての入力機器についてソース設定をする必要があります。

オプション：SPDIF 1-3*, TOS (TOSLINK) 1-3*, KNEKT, ANALOG 1-6, ANALOG GROUP, ADD UNIDISK*

* EXOTIK+DA

** UNIDISKをEXOTIK標準モデルと接続して使用する場合、ANALOG GROUP入力(マルチチャンネルシステムの場合)あるいは、ステレオペア入力(2チャンネルシステムの場合)端子に接続して下さい。

NAME (名称)

選択時にディスプレイに表示される入力機器の名称を付けることができます。

点滅文字を変更する：

- リモコンまたは前面パネルの ▲ / ▼ を繰り返し押すか押し続けます。

次の文字を使用することができます：A-Z、0-9、スペース。

次の文字か前の文字に移動する：

- ▶ または ◀ キーを押します。

名称を入力し終わったら、「enter」か「SELECT」を押します。

デフォルト設定：(リアパネルの端子名あるいは「UNIDISK」)

注記：

名称は最長 12 文字まで表示可能です。

以下の 2 項目は、ソース設定のオプションで ADD UNIDISK を選択した場合の説明です。それ以外の場合は表示されません。

ANALOG INPUT

どのアナログ入力を UNIDISK と接続するかを選択します。

オプション：ANALOG GROUP、ANALOG 1 - 6

デフォルト設定：ANALOG GROUP

DIGITAL INPUT

どのデジタル入力を UNIDISK と接続するかを選択します。

オプション：SPDIF 1 - 3、TOSLINK 1 - 3

デフォルト設定：SPDIF 1

TYPE (タイプ)

ソースのタイプを選びます、リンの学習リモコンに表示されるタイプの設定です。

オプション：AUX, CD, DVD*, TUNER, PHONO 1/LASER, PHONO 2/AUX, TAPE 1, TAPE 2/VCR, DAT, MD, TV, CABLE, SATELLITE, NONE.

デフォルト設定：AUX (ANALOG 2、3、および KNEKT は NONE に設定されています)。

*DVD は ADD UNIDISK を選択したときのみ有効です。

注記：

本機器付属のリモコンを使いやすくするよう、選択するタイプを CD、DVD、TUNER、AUX のみにし、ソースを直接選択したい場合があります。

リアパネルに使わない入力端子がある場合、タイプを「NONE」に設定します。これで、前面パネルの「SOURCE -/+」キーを使用してソースを選択すると、NONE に設定された入力端子は表示されなくなります。

VOLUME OFFSET (音量オフセット)

音量オフセットは、他の入力機器と比較しながら再生する音量を調節します。たとえば、同じ音量設定で再生したときに CD プレーヤーよりチューナーの方が小さい音の場合、再生機器間の再生音量のオフセット調整を行います。

範囲：-15 ~ 15 (0.5 ステップ)。音量微調整の必要がない場合が 0 です。

デフォルト設定：0

SURROUND CHANNELS

ANALOG GROUP ソースを設定あるいは Linn UNIDISK を入力機器として使用し、7.1ch スピーカー設置の状態、5.1ch の音声ソフトを聴く際に、サイドサラウンドスピーカーまたはサラウンドバックスピーカーのどちらを使用するかを選択できます。

「SURROUND」に設定し、お使いのサイドサラウンドスピーカーにサラウンド信号を送ります。

「SURROUND BACK」に設定し、お使いのサラウンドバックスピーカーにサラウンド信号を送ります。

デフォルト設定 : SURROUND

「SAVE」を選択して変更を保存し、SOURCE SETUP (ソース設定) メニューに戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずに SOURCE SETUP (ソース設定) メニューに戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

「BACK」を選択し、Main Menu (メインメニュー) に戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。

Audio setup (音声設定)



VOLUME RATE (音量レート)

「VOL +/VOL-」を押した場合に、EXOTIK 音量の増減速度を設定します。

範囲 : 1/10 (もっとも遅い) ~ 10/10 (もっとも速い)

デフォルト設定 : 6/10

MUTE RATE (ミュートレート)

🔇 を押すかソースを変更する場合に、EXOTIK の再生音をミュートまたはミュートを解除する速度を設定します。

範囲 : 1/10 (もっとも遅い) ~ 10/10 (もっとも速い)

デフォルト設定 : 6/10

VOLUME LIMIT (音量制限)

EXOTIK の最大音量レベルを設定します。

範囲 : 0 ~ 100 (0.5 ステップ)

デフォルト設定 : 100

VOLUME PRESET (音量プリセット)

スタンバイから起動した際の EXOTIK の音量レベルを設定します。音量制限で設定した値より高く設定することはできません。

範囲 : 0 ~ 100 (0.5 ステップ)

デフォルト設定 : 40

MIDNIGHT MOVIE (EXOTIK+DA)

このモードは小音量再生時に有効なものです。

ミッドナイトムービーは、小音量部分 (映画音声のささやくようなセリフ等) の音量を増加させ、大音量部分 (映画のアクションシーン等) のピークを抑えることによって、ソフトに収められた音声のダイナミクスを再生し易くするものです。

リモコンの SURR ボタンを押し続けることによって ON/OFF 操作します。

オプション : LOW (最小効果)、MEDIUM、HIGH (最大効果)

デフォルト設定 : LOW

DOLBY PRO LOGIC II MUSIC (EXOTIK +DA)

DOLBY PRO LOGIC IIは2CHの音声信号を5CHのサラウンド信号に変換するアルゴリズムです。DOLBY PRO LOGIC IIのモードの一つであるDOLBY PRO LOGIC II MUSICはとりわけ音楽再生を考慮したものです。以下の3つのパラメータを調整することができます。

CENTRE WIDTH

センターチャンネルと左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
このパラメータが0に設定されるとセンターチャンネル成分の全てがセンターチャンネルに出力されます。
3に設定されるとセンター成分の一部が左右チャンネルへ振り分けられます(ニュートラル設定)。
7に設定されるとセンター成分の全てを左右に等しく振り分けます(フルファントム設定)。

範囲：0～7

デフォルト設定：3

PANORAMA CONTROL

この機能をONにしパノラマ設定をすると、左右チャンネルの信号をサラウンドチャンネルに拡張します。リスナーを包み込むような効果が得られます。

オプション：ON、OFF

デフォルト設定：OFF

DIMENSION CONTROL

フロントスピーカーとリアの音量バランスをシフトする機能です。パラメータをプラス側に増加させるとフロント方向に、マイナス側に増加させるとリア方向に前後のバランスが移動します。
サラウンドスピーカー側に優勢な情報が収録されていて定位が不明瞭な時などに、フロント側にシフトさせることによりより良い再生結果が得られることがあります。ステレオ録音の音源をリア側にシフトさせて包囲感を付加させることができます。

オプション：3(フロント側)、2、1、0(ニュートラル)、-1、-2、-3(リア側)

デフォルト設定：0

「SAVE」を選択し、変更を保存しAUDIO OPTIONSメニューに戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずAUDIO OPTIONSメニューに戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

「SAVE」を選択して変更を保存し、MAIN MENU(メインメニュー)に戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずにMAIN MENU(メインメニュー)に戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

General setup (一般設定)



DISPLAY INTENSITY (前面パネル輝度)

前面パネルディスプレイの明るさを設定します。

オプション：LOW、MEDIUM、HIGH

デフォルト設定：MEDIUM

DISPLAY CONTENT (前面パネルの内容)

前面パネルに表示させたい情報を設定します。

オプション：LAST USED(入カソース、あるいは音量)、(再生中の) SOURCE AND VOLUME、VOLUME、(再生中の) SOURCE

デフォルト設定：SOURCE AND VOLUME

DISPLAY TIMEOUT (メッセージタイムアウト)

新たに設定した音量と入力機器の情報から、上記の DISPLAY CONTENT で設定した表示に復帰するまでの時間を設定します。

範囲 : 1 秒～10 秒

デフォルト設定 : 4 秒

SELECTION TIMEOUT (タイムアウト時間設定)

入力を切り替えた際、EXOTIK が選択された新しい入力を、前面パネルに表示するまでの時間を設定します。

範囲 : 1 秒から～10 秒

デフォルト設定 : 4 秒

SLEEP TIMEOUT (前面パネルタイムアウト)

リモコンやキーボタンでの最終コマンドから、前面パネルがスリープモード (例 : 3 つの点を表示する)) に入るまでの時間を設定します。

オプション : NEVER SLEEP、IMMEDIATE、30 秒、5 分

デフォルト設定 : NEVER SLEEP

STARTUP SOURCE (スタートアップソース)

スタンバイから起動した際本機が選択する入力を設定します。

オプション : LAST USED、NONE、設定された入力機器のいずれか

デフォルト設定 : LAST USED

STANDBY RECORD FROM (スタンバイレコード)

EXOTIK がスタンバイモードでも、EXOTIK を経由して入力機器から録音装置への録音が可能です。

EXOTIK がスタンバイ状態で、どのソース設定を選択するのかを設定します。

オプション : LAST USED、NONE、設定された入力機器のいずれか、AS KNEKT*

デフォルト設定 : LAST USED

*KNEKT システムにおいての使用のみ

KNEKT

KNEKT システムで EXOTIK を使用する場合、適切な設定を選択します。EXOTIK の使用が KNEKT システムではない場合、「NONE」を選択します。

オプション : NONE、MAIN ROOM、LOCAL ROOM、INTERSEKT

デフォルト設定 : NONE

ACCESSORY SOCKET (アクセサリソケット)

アクセサリ (ACC) ソケットの機能を設定します。

オプション : RCU* (KNEKT ルームコントロールユニット)、IR (赤外線リピーター)

デフォルト設定 : RCU

*KNEKT システムにおいての使用のみ

PRODUCT IR (製品 IR)

前面パネル赤外線レシーバーを有効にしたり、無効にしたりします。

オプション : ENABLE、DISABLE

デフォルト設定 : ENABLE

RS232 EVENTS (RS232 情報通信)

「ENABLE」にすると、本機の内部ステータス情報を RS232 データ対応の外部機器に送信します。

オプション: ENABLE、DISABLE

デフォルト設定: DISABLE

RS232 SETUP (RS232 設定)

RS232 SETUP (RS232 設定) サブメニューを呼び出します。

RS232 メニューは、EXOTIK が他の RS232 を使用できる製品 (リン UNIDISK やその他のコントローラー) と通信する場合に使用されます。

BAUD RATE (ボーレート)

使用している RS232 プロトコルに合うボーレートを設定します。

範囲: 1200 ~ 230400 (11 設定)

デフォルト設定: 9600

PARITY (パリティ)

使用されている RS232 プロトコルに合うパリティを設定します。

オプション: EVEN、ODD

デフォルト設定: EVEN

DATA BITS (データビット)

使用している RS232 プロトコルに合うデータビットを設定します。

オプション: 7, 8

デフォルト設定: 7

STOP BITS (ストップビット)

使用している RS232 プロトコルに合うストップビットを設定します。

オプション: 1, 2

デフォルト設定: 1

「SAVE」を選択して変更を保存し、GENERAL SETUP (一般設定) メニューに戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずに GENERAL SETUP (一般設定) メニューに戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

「SAVE」を選択して変更を保存し、MAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

「BACK」を選択し、変更を保存せずに MAIN MENU (メインメニュー) に戻ります。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

Installer menu (インストーラーメニュー)

インストーラーメニューを呼び出す

- リモコンの「SETUP」か前面パネルの「SELECT」を押し続け (約5秒間)、ディスプレイに「INSTALLER MENU」を表示します。



SAVE AS INSTALLER (インストーラー設定として保存)

EXOTIKのセットアップ後、その設定をこの項目を選択することにより保存することができます。保存されているEXOTIKの設定が変更されたときは、保存されているインストーラー設定に戻すことができます (以下を参照してください)。保存したい設定へのいかなる変更も、インストーラー設定を上書きすることによってもとに戻すことができます。

RESTORE INSTALLER (インストーラー設定に戻す)

このオプションを使用して、インストーラー設定をもとに戻すことができます。

RESTORE FACTORY (出荷時設定のデフォルトに戻す)

このオプションを使用して、すべての設定メニューをもとのデフォルト設定に戻すことができます。この項目を選択すると、現在のインストーラー設定は削除されます。

SOFTWARE REVISION (ソフトウェアのバージョン)

EXOTIKに搭載されたソフトウェアのバージョンを確認します。

「EXIT」を選択し、設定を終了します。(設定が変更され「SAVE」が選択されない場合、変更を保存、あるいは保存しないことを決める必要があります)

リン UNIDISK と EXOTIK を接続して使用する

Linn UNIDISK と EXOTIK を接続して使用すると、操作上の利点が生じます。EXOTIK、EXOTIK + DA、それぞれ以下の通りです。

EXOTIK

- EXOTIK、UNIDISK のどちらのリモコンからも操作に混乱なくコマンドできます。
- EXOTIK のメインメニュー中にあるユニディスクセットアップの項目から UNIDISK のセットアップメニューにアクセスできます (UNIDISK のセットアップメニューが接続されている映像機器に表示されます)。

EXOTIK + DA

- EXOTIK + DA の入力機器に UNIDISK が選択された際、再生するディスクに応じて自動的に入力が切り替わります。
- EXOTIK + DA は再生ディスクの音声フォーマットに相応しいデコーディングを自動選択します。
- EXOTIK+DA、UNIDISK のどちらのリモコンからも操作に混乱なくコマンドできます。
- EXOTIK+DA のメインメニュー中にあるユニディスクセットアップの項目から UNIDISK のセットアップメニューにアクセスできます (UNIDISK のセットアップメニューが接続されている映像機器に表示されます)。

リン UNIDISK を EXOTIK と接続して使用する場合、以下の設定を行ってください。

1. UNIDISK から使用する音声出力を、対応する EXOTIK の入力端子へ接続します。
2. UNIDISK から使用するビデオ出力をご使用のディスプレイ装置へ接続します。
3. EXOTIK の RS232 OUT と UNIDISK の RS232 IN を RS232 製品接続コード (EXOTIK に付属) で接続します。
4. EXOTIK の REMOTE OUT と UNIDISK の REMOTE IN (RCA- RCA フォノリードが必要になります) を接続します。
5. UNIDISK でユーザーオプションを入力します。

設定 一

前面パネル IR Command / Enable IR Commands を **[IGNORED]** または **[OFF]**、RS232 Events / Enable RS232 Events を **[ENABLED]** または **[ON]** に設定します、ボーレートを **9600**。
(また、UNIDISK SC の Knekt Mode は **SOURCE** に設定します)。

6. ユーザーオプションを終了します。
7. EXOTIK の一般設定を入力します。
8. RS232 SETUP (RS232 設定) のサブメニューを入力します。

設定 一

ボーレートを **9600**、
パリティを **EVEN**、
データビットを **7**、
ストップビットを **1**、

に設定して保存します。

9. SOURCE SETUP (ソース設定) で UNIDISK を追加します (この項の前の方にある「ソース設定」を参照してください)。

操作



スタンバイ キー

スタンバイモードと動作モードを切り替えます：

- フロントパネルあるいはリモコンの  ボタンを押します。

入力機器の選択

再生したい入力機器を選択する：

- リモコンの適切なソースタイプのキー (DVD、CD、TUNER、またはAUX) を押します。
-  /  キーを使って、使用可能な接続機器の中から使用する機器を選択します。
- 設定された表示を前面パネルで確認し **[enter]** を押すか、EXOTIKの入力が切り替わるのを待ちます。

または

- 前面パネルの **[SOURCE +/-]** キーを使用します。すべての使用可能な接続機器の中から選択できるようになります。
- 利用する入力機器の設定表示が前面パネルに表示されたら、**[SELECT]** を押すか、EXOTIKの入力が切り替わるのを待ちます。

サウンドの調節

音量

音量を調節する：

- 前面パネルまたはリモコンの **[VOL - / +]** を繰り返し押すか押し続けます。



音量は0～100 (0.5刻み) の範囲で調節できます。

バランス

スピーカーのバランスを調整する (センター及びサブウーファーを除く)：

- リモコンの **[AUDIO ADJ]** (アジャスト) を押します。

前面パネル画面に BALANCE (バランス) が表示されます。

- バランスを右へ動かすには  を繰り返し押し (あるいは押し続け)、左へ動かすには  を使います。



バランス移動は、左へ10ステップ、右へ10ステップです。0がニュートラルとなります。

音量微調整

この機能は2つ以上のスピーカーがセットされているときのみ有効です。

DVDを見たりマルチチャンネルディスクを再生する際に、他のスピーカーに影響を与えずに、センター、サラウンド、サラウンドバックのスピーカー音量を調整したい場合があるかもしれません。これは音量微調整機能 (トリム) を活用して行います。

音量トリムの調節：

- リモコンの **[AUDIO ADJ]** を繰り返し押して、前面パネルに希望のスピーカーを表示させます。
- 前面パネルかリモコンの  /  を繰り返し押して (または押し続けて)、音量トリムのレベルを増減します。

音量微調整範囲は-10.0～10.0 (0.5刻み) です。ニュートラルは0です。

注記：

AUDIO ADJ を繰り返し押したときに表示されるスピーカーは、使用しているスピーカー数とその時点で選択されているサラウンドサウンドのフォーマットによって異なります。

Lip Sync デイレイ (EXOTIK+DA)

DVDによっては、俳優の口の動きと音声があわない場合があります。EXOTIK+DAのLip Sync デイレイ機能でこれを修正することができます。

Lip Sync デイレイを調整する：

- リモコンの「LIP SYNC」を押します。
- ▲ / ▼ を押して、映像と音声があうまで音声信号を調整します。

Lip Syncの調整範囲は0～250 ミリセカンドです。

注記：

Lip Sync デイレイのセッティングはそのソースにのみ保持されます。

Lip Sync デイレイをアナログソースに適用する場合、音声をA/D変換し、再びもとに戻す必要があります。このため、アナログ音声入力に関して適用できる最小遅延は5ミリセカンドです。

サラウンドサウンドのフォーマット

オーディオ/ホームシネマを十分に楽しむために、EXOTIK+DAは幅広いサラウンドサウンドのフォーマットに対応しています。通常のEXOTIKが対応するサラウンドサウンドのフォーマットはステレオサブのみです。

サラウンドサウンドのフォーマットを変更する：

- リモコンの「SURR」を繰り返し押して、前面パネル画面に求めるフォーマットを表示させます。

使用できるサラウンドサウンドのフォーマット、およびそれぞれの概要は以下のとおりです。

| サラウンドサウンドのフォーマット | 内容 |
|--------------------------|---|
| Dolby Digital | DVDビデオなどのディスクに5.1チャンネルの音声信号を収録する規格。 |
| Dolby Digital EX | Dolby Digital 5.1 音声信号をもとにサラウンドチャンネルにサラウンドバック情報を追加収録する規格。 |
| Dolby Pro Logic II | サラウンドではない音声信号をサラウンドサウンド5.0信号に変換します。 |
| Dolby Pro Logic II Music | Dolby Pro Logic IIと同じですが、特に音楽向けです。セットアップメニュー内に可変可能な3つのパラメータがあります。 |
| DTS Digital Surround | DVDビデオなどのディスクに5.1チャンネルの音声信号を収録する規格。 |
| DTS 96/24 | DTS デジタルサラウンドと同じですが、より高次のフォーマットです。 |
| DTS ES Matrix | DTS 5.1 音声信号をもとに6.1チャンネル分のデータを取り出すDTSの規格。 |
| DTS ES Discrete | DVDなどのディスクに6.1チャンネルの音声信号を収録(保存)する規格(標準です)。EXOTIKで外部チャンネルを、6.1 音声を7.1 音声に変換する2個のバックスピーカーに広げることができます。 |
| DTS 96/24 ES Matrix | DTS デジタルサラウンドよりも更に高い音質を目指してつくられたより高次の規格。 |
| Phantom | 5.1あるいは7.1の音声信号のセンター成分を、左右のフロントスピーカーに振り分けます。 |
| 3 Stereo | 5.1あるいは7.1の音声信号をダウンミックスして、左右のフロントスピーカーとセンタースピーカーに振り分けます。 |
| Stereo Sub | 5.1の音声信号を2チャンネルにダウンミックスして、その信号を左右のフロントスピーカーとサブウーファーに出力させます。 |

| サラウンドサウンドのフォーマット | 内 容 |
|------------------|---|
| MPEG Stereo | MPEG ファイルで2チャンネル音声を収録する規格。 |
| MPEG Surround | MPEG ファイルでサラウンドサウンド音声を収録する規格。 |
| AAC Stereo | デジタル放送等の2チャンネル音声を収録する規格。 |
| AAC Surround | デジタル放送等のサラウンドサウンド音声を収録する規格。 |
| Limbik Party | 同じ音声信号をお使いのシステムの全チャンネルに出力するリンのアルゴリズムです。 |

EXOTIK+DAに入力される音声信号と、ご使用のシステムのチャンネル数に応じて、上記のフォーマットの2つを組み合わせた追加処理が可能です。たとえば、Dolby Pro Logic IIとDolby Digital EXを組み合わせると、2チャンネル音声信号を7.1チャンネルの音声に拡張します。以下の表を参照してください。

さまざまな音声入力と信号のタイプ別のサラウンドサウンドのフォーマットは、以下の表の通りです：

アナログ音声入力

| | 5.1ch 再生環境 | 7.1 ch 再生環境 |
|---------|------------|-------------|
| ステレオ | 2.0 | 2.0 |
| アナログ5.1 | 5.1 | 5.1 |

2チャンネル音声入力

| | アナログ信号 | PCMステレオ信号 | LtRt ダウンミックス信号 |
|--------------------------|-----------|-----------|----------------|
| Stereo | 2.0 | 2.0 | 2.0 |
| Dolby Pro Logic II | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| Dolby Pro Logic II Music | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| Limbik Party | 5.1 & 7.1 | 5.1 & 7.1 | 5.1 & 7.1 |
| Stereo Sub | 2.1 | 2.1 | 2.1 |

サラウンドサウンド音声入力

| | Dolby | DTS | MPEG | AAC |
|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| Stereo | 2.0 | - | - | - |
| Phantom | 2/2.1 | 2/2.1 | 2/2.1 | 2/2.1 |
| 3 Stereo | 3/0.1 | 3/0.1 | 3/0.1 | 3/0.1 |
| Stereo Sub | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 |
| Dolby Digital | 5.1 | - | - | - |
| Dolby Digital + Dolby Digital EX | 7.1 | - | - | - |
| DTS Digital Surround | - | 5.1 | - | - |
| DTS 96/24 | - | 5.1 | - | - |
| DTS ES Matrix | - | 7.1 | - | - |
| DTS ES Discrete | - | 7.1 | - | - |
| DTS 96/24 ES Matrix | - | 7.1 | - | - |
| MPEG Stereo | - | - | 2.0 | - |
| MPEG Surround | - | - | 5.1 | - |
| MPEG Surround + Dolby Digital EX | - | - | 7.1 | - |
| AAC Stereo | - | - | - | 2.0 |
| AAC Surround | - | - | - | 5.1 |
| AAC Surround + Dolby Digital EX | - | - | - | 7.1 |
| Limbik Party | 5.1 & 7.1 | 5.1 & 7.1 | 5.1 & 7.1 | 5.1 & 7.1 |

注記：

使用できるサラウンドサウンドフォーマットは、処理される信号タイプによって決まります。

再生中の音声信号フォーマットのデフォルトは、前面パネルの括弧内に表示されます。

深夜映画モード (EXOTIK+DA)

再生中の音声信号を圧縮する機能です。映画音声の爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

深夜映画モードのオン/オフを切り替える：

- リモコンの「SURR」を押し続けます。

このモードがオンになっていると、前面パネルディスプレイに「MIDNIGHT MOVIE あるいは M/MOVIE」と表示されます。

音声圧縮のレベルを Audio setup menu にて可変調整できます (設定の項目を参照ください)。

もとの音声設定に戻す

すべてのオーディオ設定をニュートラル/デフォルトに設定し直す：

- リモコンの「AUDIO ADJ」を押し続け、前面パネルに AUDIO SETTINGS RESET を表示させます。

録音機能

録音機能により、入力信号をVCRやDATレコーダーなどの録音装置に出力することができます。

EXOTIKの録音機能は、デジタル音声モジュールが搭載されているかどうかによって異なります(デジタル音声モジュールが搭載されているモデルの場合はスタンバイ状態になったとき、前面パネルディスプレイにEXOTIK+DAが表示されます)*

録音機能の違いは、以下の表の通りです。

EXOTIK


| | アナログレコード出力 |
|---------|---------------------------|
| アナログソース | あらゆるアナログをアナログ出力することができます。 |

EXOTIK+DA

| | アナログレコード出力 | デジタルレコード出力 |
|---------|-----------------------------|-------------------------|
| アナログソース | あらゆるアナログ入力をアナログ出力することができます。 | 接続されたアナログ入力をデジタル出力できます。 |
| デジタルソース | 再生中のデジタル入力のみアナログ出力できます。 | 再生中のデジタル入力のみデジタル出力できます。 |

* デジタルオーディオモジュールは、EXOTIKのアップグレードとして利用できます。

録音経路(レコードバス)をセットする:

- リモコンの  を押します。
- $\blacktriangle / \blacktriangledown$ キーで録音する入力を選び、「enter」を押します。

注意:

NO SOURCE: 録音経路が設定されていません。

AS KNEKT: EXOTIKのレコードバスを使用すると、KNEKT Line Driver システムをお使いの方はこの設定により再生中のソースを変更できます(同時に録音経路も変更されます)。録音経路を保護するには、必要なレコーディングオプションを選択します。録音が完了したら、As KNEKT オプションを再度選択します。

NONEにセットされた入力は表示されません。

EXOTIK + DA用補足:

- 録音時に使いたいオプションを $\blacktriangle / \blacktriangledown$ キーで選択し、「enter」を押します。

レコーディングのオプションは次の通りです:

| オプション | 説明 |
|--|--|
| LtRt 44.1 kHz LtRt 48 kHz LtRt 88.2 kHz LtRt 96 kHz | お使いの録音機器の動作周波数に合うオプションを選びます。(これらのオプションで、マルチチャンネル信号はミックスダウンされて2チャンネルとなります)。 |
| LtRt As Input | 出力周波数は入力周波数と同じ、マルチチャンネル信号はミックスダウンされて2チャンネルとなります。 |
| Bit Perfect | 出力周波数は入力周波数と同じです。 |
| Analog | 音声信号をアナログ出力します。 |

EXOTIKに搭載された録音オプションはAnalogのみです。

注意:

録音出力はアナログ、デジタル録音出力端子から同時に出力されます。録音機器の接続は適当な端子を選択して下さい。

選択可能な録音出力は入力信号がアナログあるいはデジタルによって異なります。

著作権保護のため、オーディオ、ビデオのディスクによっては、録音を妨げるプロテクションシステムが組み込まれていることがあります。

仕様

電源

電源 100-230 VAC @50 ~ 60 Hz

形状

重量 3,5 kg

外形寸法 381 (W) x 368 (D) x 80 (H) mm

入力

| タイプ | 端子 | レベル | インピーダンス | 備考 |
|---------|-------------|-----------|---------|--------|
| SPDIF* | RCA x 3 | 500 mVp-p | 75 Ω | 同軸 |
| オプティカル* | TOSLINK x 3 | — | — | オプティカル |
| アンバランス | RCA x 12 | 2 Vrms | 10k Ω | アナログ |

出力

| タイプ | 端子 | レベル | インピーダンス | 備考 |
|--------|-------------|-----------|---------|------------|
| SPDIF* | RCA x 1 | 500 mVp-p | 75 Ω | 同軸 |
| オプティカル | TOSLINK x 1 | — | — | オプティカル |
| アンバランス | RCA x 8 | 2 Vrms | 330 Ω | サラウンド出力を含む |
| アンバランス | RCA x 2 | 2 Vrms | 330 Ω | 録音出力 |

コントロールインターフェイス

| タイプ | ポート名 | ピン接続 |
|-------|------|------------------------|
| RS232 | In | Rx = 3, Tx = 2, Ov = 5 |
| RS232 | Out | Rx = 3, Tx = 2, Ov = 5 |

*EXOTIK + DA

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田 6-1-4
神田ノーザンビル 4F

TEL: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Website: www.linn.jp